

レセプトオンライン請求義務化に関する アンケート調査報告

速報値

2008年7月2日

社団法人 日本医師会

調査の背景・目的・方法

平成23年4月より、全ての保険医療機関において、レセプトオンライン請求が原則義務化される。日本医師会では、レセプトオンライン請求は義務化ではなく、できるところから手挙げ方式で移行し、IT化に対応出来ない医療機関にも十分配慮する必要があることを主張してきた。

そこで、本会では、レセプトオンライン請求義務化により予測される影響を把握するため、都道府県医師会を通じ、病院・診療所の開設者を対象に、アンケート調査を実施した。

調査の概要

- ・調査対象：47都道府県医師会（任意）
都道府県医師会に所属する病院、診療所の開設者
- ・調査期間：平成20年3月17日～4月30日
- ・調査方法
8項目の設問（一部複数回答）＋その他（自由記載）
アンケート用紙に基づいて調査を実施した医師会は、
42医師会で、内1医師会は現在実施中。過去1年以内に独自に同様の調査を実施し、その調査結果で回答した医師会が4医師会。未実施が1医師会であった。

・回答状況

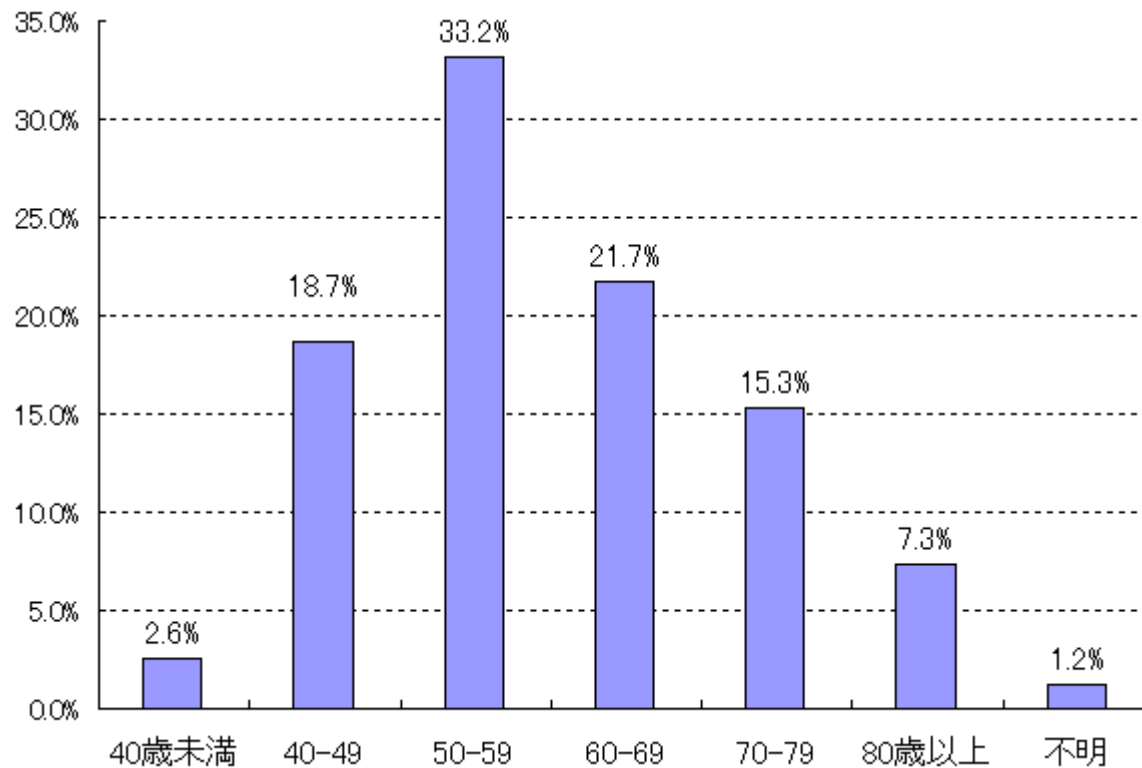
	調査実施	独自調査 報告書提出	未実施
都道府県 医師会	42	4	1

	対象施設数	有効回答数	有効回答率
病院・診療所	71,799	42,130	58.7%

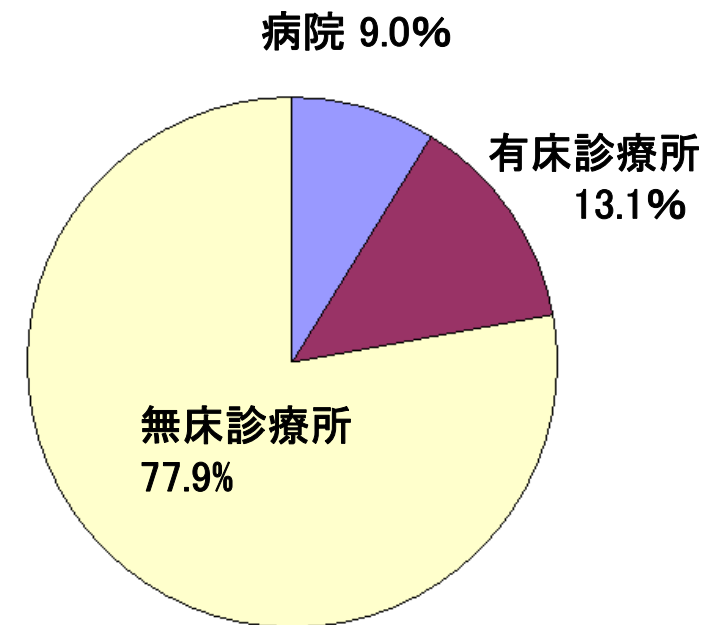
結果の概要1

回答者を年齢別にみると、50～59歳が33.2%でもっとも多く、次いで60～69歳が21.7%であった。回答施設内訳は、病院が9.0%、有床診療所13.1%、無床診療所77.9%であった。

回答者年齢構成割合



回答施設内訳



結果の概要2

設問1：平成23年4月から全ての保険医療機関において、レセプトのオンライン請求が原則義務化される省令が出ていることをご存知でしたか。

知っていると回答

全体	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
92.0%	91.8%	93.4%	92.6%	92.5%	89.6%	84.1%

設問2：貴院ではレセコンを使用していますか。

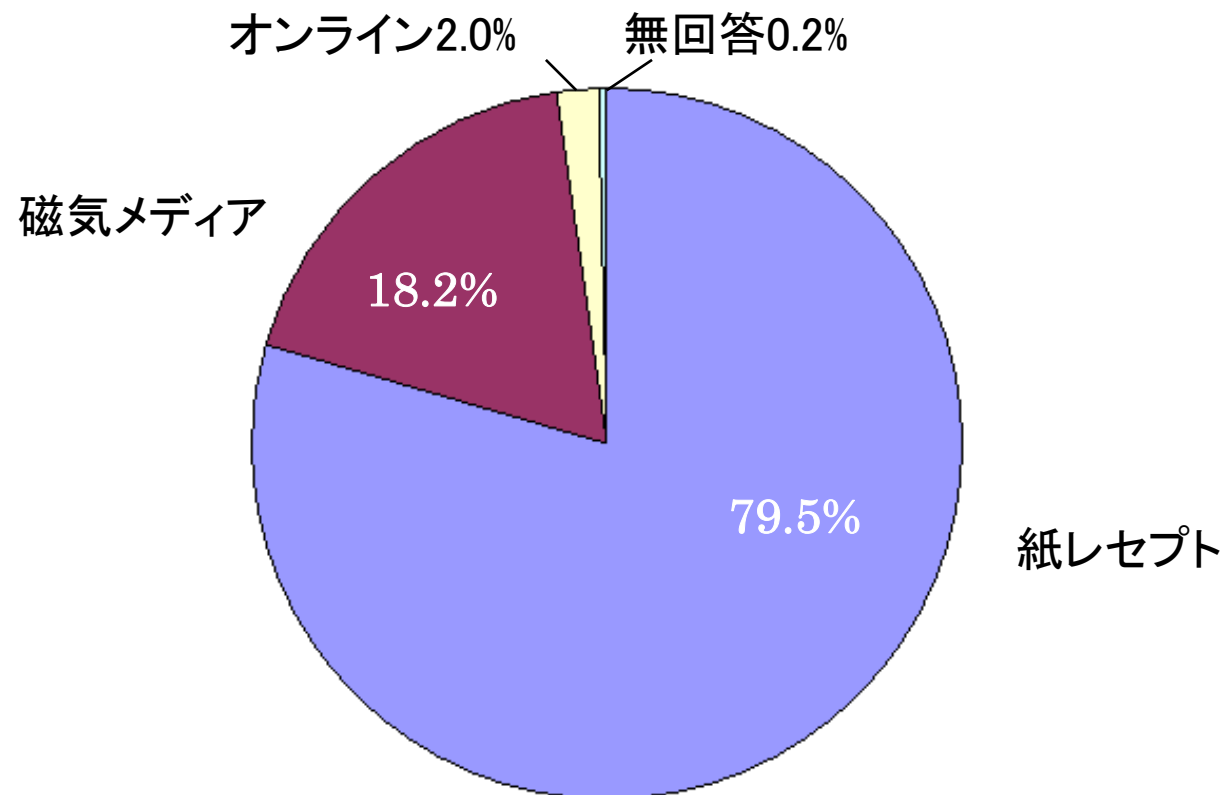
使用していると回答

全体	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
88.9%	96.5%	96.8%	96.5%	91.7%	74.7%	56.3%

結果の概要3

設問3: 貴院でのレセプトの提出方法を教えてください。

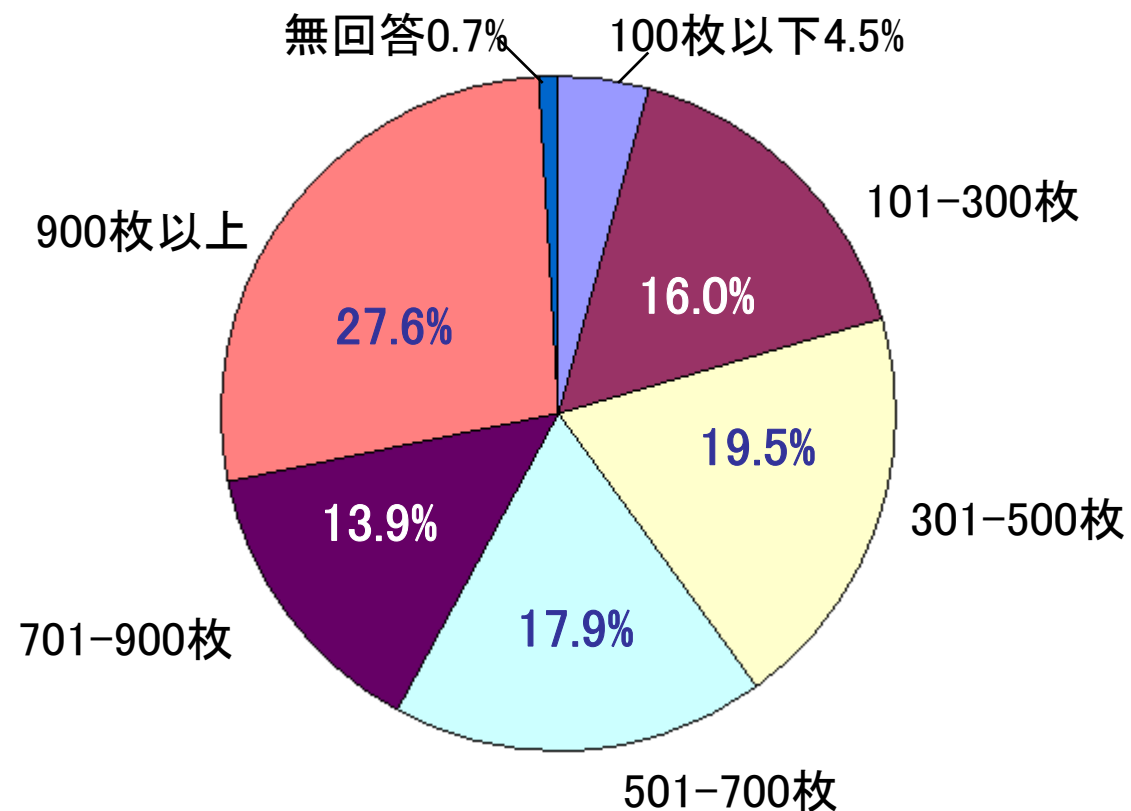
紙レセプト使用	磁気メディア	オンライン	無回答
79.5%	18.2%	2.0%	0.2%



結果の概要4

設問4: 貴院の1ヶ月平均レセプト枚数を教えてください。

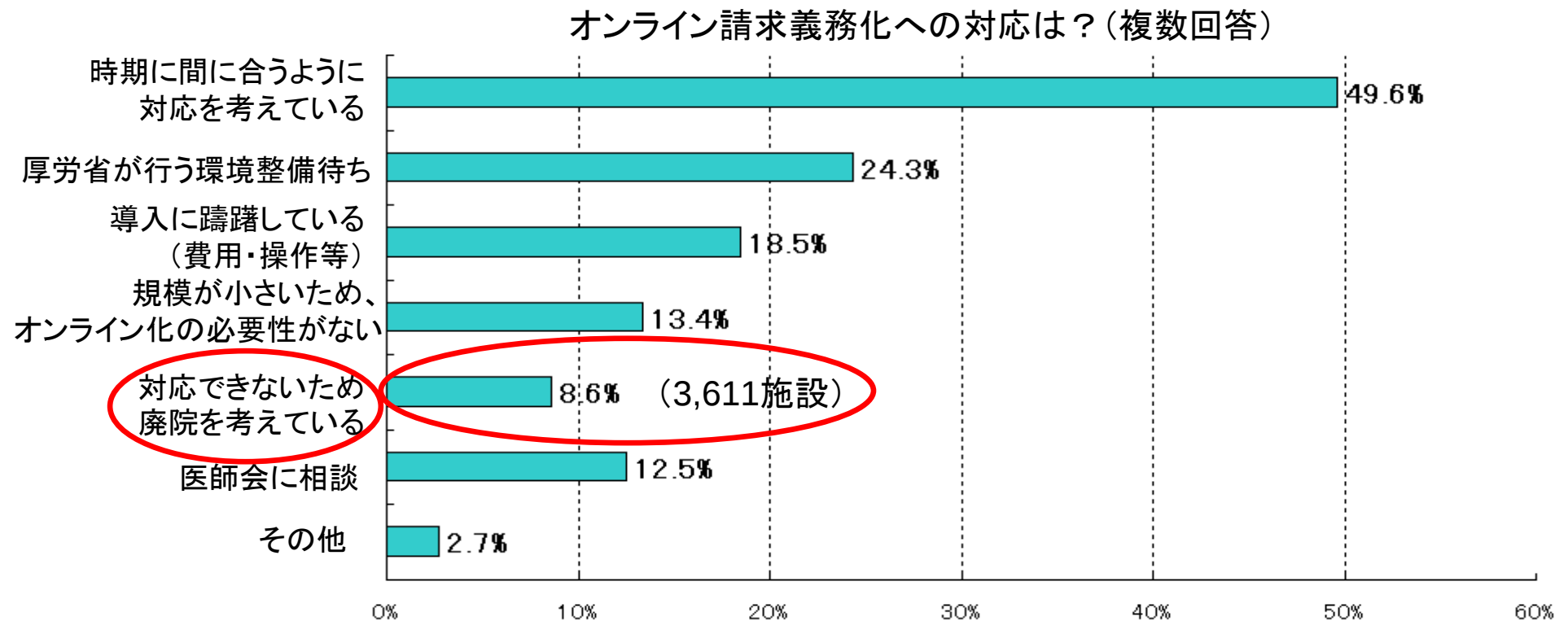
100枚以下	101－300	301－500	501－700	701－900	900枚以上	無回答
4.5%	16.0%	19.5%	17.9%	13.9%	27.6%	0.7%



結果の概要5-1 オンライン請求義務化への対応

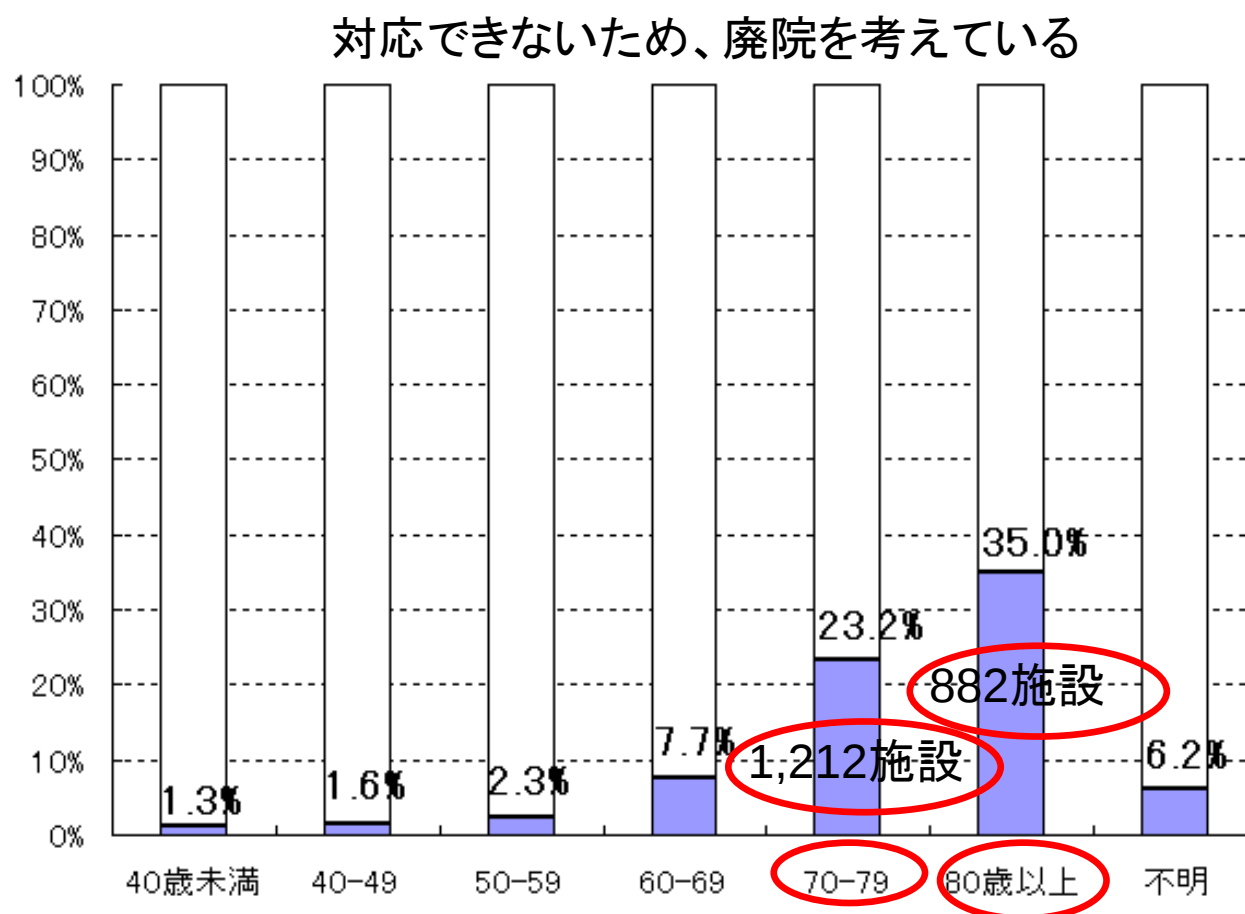
設問5: 貴院ではレセプトオンライン請求義務化にどう対応されますか。

時期に間に合うように対応を考えていると回答した施設が49.6%で、最も多く、次いで、厚労省が行う環境整備を待ちたいと回答した施設が24.3%であった。しかし、オンライン化に対応できないため廃院を考えていると答えた施設が3,611施設で8.6%もあった。



結果の概要5-2 オンライン請求義務化への対応

レセプトオンライン請求義務化に対応できないため、廃院を考慮していると回答した医療施設の開設者の各年齢別の割合は、80歳以上が35.0%と最も多く882施設、次いで、70～79歳が23.2%で1,212施設であった。



結果の概要6 レセプトオンライン請求義務化において特に問題とすべき項目

設問6: レセプトオンライン請求義務化において、特に問題とすべき項目を3つ選んで回答してください。

